



みょうけん こういちろう

# 明見 孝一郎

明日を見据えて全力投球！

知れば知るほど「あまがさき」♡



Happy100th anniversary Amagasaki

平成28年4月発行  
明見 孝一郎  
後援会 会報

発行責任者 妹尾 貴之  
編集責任者 谷岡 雄大  
《内部資料》

## ◆平成28年 第15回尼崎市議会定例議会ご報告◆

第15回市議会定例会が平成28年2月22日から3月25日の33日間の日程で開催され、平成28年度尼崎市一般会計予算（案）他、82議案について審議した結果、全ての議案が可決されました。今年度は尼崎市市制施行100周年の大きな歴史的節目の年です。これまでの歴史を学び、先人たちへの感謝とともに、これからの将来を皆で力を合わせ築いていかなければなりません。

そのような中、近年、急速に進む少子高齢化の進展に的確に対応していくために、国会にて「まち・人・しごと創生法」が制定の下、各都市においても将来の人口推計による戦略が策定され、平成28年度予算はその施策実行の初年度となります。各都市とも子育てや教育、住環境といった類似した施策内容になる中で、本市の特性を活かした施策や都市魅力を創造していかなければならないと考えます。以下、100周年記念を機に着手する城内地区のまちづくり整備事業内容と平成28年度予算案、総括質疑内容についてご報告します。

## ◆城内地区における都市再生整備計画の策定について◆

### 1. 趣旨

城内地区は、近世に尼崎城があった地区であり、旧城郭内は現在でも明治、大正、昭和初期の建築物が現存する歴史的にも貴重な地区。市制100周年を契機として、城内地区に残された歴史・文化資源を活かすことで、都市の魅力向上と交流人口の増加、歴史文化という新たな都市イメージを付加することで、市民のまちに対する誇りや愛着の醸成につなげる。

### 2. 事業の概要

- (1) 計画区域：北城内、南城内、開明町一丁目・二丁目、御園町、西本町一丁目・二丁目（約32ha）  
(右図参照)
- (2) 事業期間：平成28年度～平成32年度
- (3) 事業手法：社会資本整備総合交付金  
都市再生整備計画事業 都市再構築戦略事業（補助率：国1/2）
- (4) 概算事業費

		単位 億円		
		都市再生整備計画事業	その他補助対象外 用地買戻し	合計
整備事業費	事業費	14.4	—	14.4
	うち国補助分	7.2	—	7.2
用地取得費	事業費	3.8	39.5	43.3
	うち国補助分	1.9	—	1.9
合計	事業費	18.2	39.5	57.7
	うち国補助分	9.1	—	9.1

### (5) 整備予定施設等

歴史館機能 (延床面積＝約4,800㎡)	旧城内中学校の校舎を耐震改修し、文化財蔵庫と地域研究資料館の機能を併せ持つ、尼崎の歴史文化を学ぶ拠点として整備する。	平成28年度 ～ 平成31年度
成良中学校琴城分校 (延床面積＝約1,000㎡)	上記施設の1階に併設し、移転する。	
城址公園 (延床面積＝約12,000㎡)	城内地区の玄関口にふさわしい景観形成並びに憩いの空間整備を図る。復元尼崎城の建築。	平成28年度 ～ 平成30年度
遊歩道 (延床面積＝約300㎡)	東町開明線に接する公共用地内に遊歩道を整備し、安全で快適なゆとりある歩行空間を確保する。	平成31年度 ～ 平成32年度
観光案内情報板	城内地区に残る地域資源について、文化的価値や地域の歴史を解説した観光案内情報板を設置する。	

### 3. これまでの取組みと今後のスケジュール

- 平成27年12月：都市再生整備計画の策定及び公表  
国庫補助金要望 提出
- 平成28年1月：地域住民への説明
- 平成28年4月：国庫補助金交付申請、交付決定  
事業着手
- 平成33年3月：事業終了（5年間）



尼崎城イメージ

### 城内地区整備方針概要図



## ◆平成 28 年度予算案、総括質疑の抜粋◆

### 【質問】他都市の予算編成を鑑み、どのように考えているのか

昨年、本市において「尼崎人口ビジョン・尼崎総合戦略」が策定されました。平成 28 年度予算においては、各自治体ともに「総合戦略」を強く意識した予算編成になっていますが、市長はどのように考えておられるのか。

### 【答弁】市長

昨年 10 月に尼崎版の総合戦略を策定致しました。他都市同様、この総合戦略で強く意識をしております、一定の人口規模、人口構成バランスを強く意識した施策、そのためには、かねてから取り組みの柱としている社会減への対応ですね、とりわけ、子育てファミリー世帯の社会減をしっかりと抑制していくということを柱とした予算編成を心掛けたところでございます。また、総合戦略の基本目標の中で、独自のものとして、学力向上やシチズンシップ※1の向上、シビックプライド※2といったところを強く意識した取り組みを入れることとしておりまして、28 年度予算におきましても、そういったものを意識したものでございます。



### 【質問】今後の予算執行における課題について

施政方針では、「子育て世代の定住・転入促進に向けた取り組みを進めるため、予算や職員定数を重点的に配分します」とされていますが、予算編成に当たりどのようにリーダーシップを発揮され予算に表されているのか。

### 【答弁】市長

昨年度同様、予算編成方針の基盤となります施策評価におきまして、直接費やヒアリングを行い、担当局とも議論の上、私の評価結果、今後の取組みを明らかにしてまいりました。また、これらの結果を踏まえて立案された重点項目をはじめとする新規・拡充事業等の主要事業の構築にあたりましても、ヒアリングを行う中で、より効果的な取組みとなるよう、議論や指示をしたところでございます。

### 【質問】尼崎市の強みと多様な資源とは何か

総合戦略を踏まえ、「尼崎の強みと多様な地域資源を生かした施策を展開していく」とされていますが、同じ課題に取り組む都市が多く見受けられます。市長が認識しておられる本市の強みと多様な資源はどのようなところなのか、また今後の課題はどう考えておられるのか。

### 【答弁】副市長

具体的な例を申し上げますと、歴史と文化に育まれた地域資源や、世界レベルのものづくり技術を持った産業の集積、移動がしやすく平坦な市域、人情味あふれる気風、地域を支える地縁組織や多彩な市民活動など、これらを支える人材があげられます。ありたいまちの実現を図るためには、このような強みや多様な資源などの魅力を、いかなる対象にどのように PR していくかが課題であると考えています。

### 【質問】使用料全額減免団体への減免見直しについて

市施設の事務所利用に係る使用料減免団体への減免見直しが進められています。事務所利用に係る使用料減免見直しは、信頼関係、シビックプライド※2の醸成とは逆行すると思うがどうか。

### 【答弁】資産統括局長

公有財産は市民の財産であり、貸付料や使用料はその使用の対価であることから、受益と負担の公平性からも、全額有償が原則であると考えております。しかしながら、これまでの経緯等を踏まえ必要があるものは一定の減免処置を講じており、利用者の皆様には状況を十分ご説明することにより、ご理解いただけるものと考えております。

### 【質問】公園駐車場料金について

利用者負担公平性の観点と歳入確保の見直しにより、公園駐車料金の管理・運用方法を実情に合った見直しをすべきと思われますがいかがか。

### 【答弁】都市整備局長

公園駐車場において、1 時間未満の利用を無料にしている理由と致しましては、使用料の納付など、施設利用の手続きのために来場する利用者の便宜を図るために設定したものであります。なお、この料金体系は、西武庫公園、元浜緑地だけでなく、記念公園など、すべての有料の公園駐車場も同様の取扱いであります。本来の目的以外での利用を含め、1 時間以内の利用者が多くいることなどから、今後は利用者負担の公平性の観点などから、公園駐車場の現状分析を行い、料金体系の見直しを検討して参りたいと考えております。

※1 シチズンシップ：市民としての意識、権利 | ※2 シビックプライド：都市に対して持つ「誇り」や「愛着」

### 【質問】プロジェクトに掲げる取組みについて

行財政改革プロジェクトに掲げる取り組みについて、予算への反映をより一層明確にさせることが更なる意識醸成や見える化、またスピード感を持った改革につながると思うがどうか。

### 【答弁】企画財政局長

行政改善の取り組みにつきましては、PDCA サイクルに基づく行財政運営を進める中で、所属長と各所属の担当者向けの研修を行い、施策評価での事務事業の見直し事項を着実に予算に反映する仕組みについて、意識づけを図って参りました。また、市民意見聴取プロセスにおいて、この施策評価から予算編成までの一連の過程で、新規・拡充事業や改革改善項目について、パブリックコメントを行うなど、市民への見える化も行っているところです。こうした一連の取り組みについては今年度で 2 回目であり、今後もより良い PDCA サイクルの構築を進め、スピード感を持った改革につなげて参りたいと考えております。

### 【質問】高齢者等見守り安心事業活動について

高齢者見守り安心事業活動も 6 年が経過して参りました。半数近い連協圏域が未実施ですが、どのような要因で実施が出来ていないのでしょうか。また、その要因に対してどのような対策や支援を行ってこられたのか。

### 【答弁】健康福祉局長

実施されていない連協については、「地域全体が高齢化し、担い手の確保が困難である」ことや、「圏域が大きく、事業実施に向けた意見がまとまらない」あるいは、「見守り希望者が亡くなられたときに責任を感じてしまう」などの要因があると考えております。連協会長や民生児童委員のブロック長などに対して個別説明など、積極的なアプローチを行うとともに、未実施の連協も含めた研修会の実施や、単協独自での見守り活動に対する支援を行い、先々に連協全体で実施して頂けるよう働きかけるなど、実施地域の拡大に向けた取り組みを行って参りました。今後もこれまでに以上に丁寧な説明などを、市社協と行政が連携しながら取り組み、実施地区の拡大に努めて参ります。

### 【質問】南部臨海地域の津波等防災対策について

各地域の福祉施設や単組の会長、民生児童委員等へ、迅速かつ確実に情報を伝達するため、個別受信機や防災ラジオを配布しているが、各企業にも個別受信機を配布することにより、平時の防災対策や災害時の対応などの情報伝達がよりスムーズに行える対応が必要ではないか。

### 【答弁】防災担当局長

南部臨海地域におきましては現在、県が津波防災インフラ整備計画に基づき、河川や運河沿い等に「避難誘導スピーカー」の整備を進めており、本市ではそのスピーカーを防災行政無線に連動させるシステムの改良や「あまがさき防災ネット」への加入促進の啓発などを行っているところであります。議員ご質問の南部臨海地域への個別受信機の配布につきましては今後、各企業等の意向を確認しながら斡旋などの手法を含めて検討を進めて参りたいと考えております。

### 【質問】環境モデル都市について

本市の強みである環境モデル都市としての強みを活かしきれていないと考えます。近年の世帯数が増加しているところに着目し、現役世代の定住・転入促進に係わる事業に重点を置くことも効果的と考えるがいかがか。

### 【答弁】経済環境局長

環境モデル都市の取り組みにつきましては、環境と経済の共生だけではなく、事業を通じて環境への取り組みに理解のある魅力的な地域づくりを図ることも重要と考えています。具体的には平成 27 年度に認定を行った尼崎版スマートコミュニティ推進事業において、電力需要が多い期間の市民への節電協力に対し、地元商店街等で使用できる地域通貨を付与するという、大規模な例としては全国初となる取り組みを JR 塚口駅前の ZUUTO CITY（ズットシティ）で行うことから注目を集めているところです。



## ◆参議院選挙に必勝を期して！◆

今年の夏には、参議院選挙が実施されます。私の所属する JAM 組織内議員 現職「津田弥太郎」議員の後継者として、**全国比例区**に新人「藤川しんいち」さんが立候補を予定しています。明見孝一郎は「藤川しんいち」さんを応援しています。皆様のご支援をお願い申し上げます。

